

解答

記号

80	弘法筆を選ばず	こうぼうふで えらばず
79	弘法にも筆の誤り	こうぼう ふで あやまち
78	郷に入っては郷に従え	きょう へいりてはきょう したがえ
77	孝行のしたい時分に親は無し	こうこうの したいときぶん におや はなし
76	後悔先に立たず	こうかい 先に立たず
75	光陰矢のごとし	こういん やのごとし
74	喧嘩両成敗	けんか 両成敗
73	犬猿の仲	けんえん のちゆう
72	芸は身を助ける	げい は身を助ける
71	君子危うきに近寄らず	くんし あやうきに ちかよらず
70	苦しい時の神頼み	くるしいとき のかみだの ねいみ
69	口は災いの元	くち はわざわいの もと
68	腐っても鯛	くさってもたい
67	木を見て森を見ず	きを見てもりを見ず
66	清水の舞台から飛び降りる	しみずのぶたいから 飛び降りる
65	九死に一生を得る	きゅうしに いっしょうを得る
64	雉も鳴かずに撃たれまい	けいも 鳴かずに 撃たれまい
63	聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥	きくは一時のち、 聞かぬは一生のち
62	聞いて極楽見て地獄	きいて 極楽見て 地獄
61	かわいい子には旅をさせよ	かわいい子には 旅をさせよ

ト	うまくいくかはわからないことでも、思い切った決断を下すことのたとえ。
テ	甘やかして育てるよりも、世の中でつらくて苦しい体験をさせたほうが、愛する子どものためになるということ。
ツ	月日がたつのがとても速いことのたとえ。また、時間を無駄にしてはいけないという戒め。
チ	まず助からないだろうという危険な状態から何とか助かること。
タ	自ら話したことが災いを招くこともあるので、余計な発言は慎んだ方がよい。
ソ	物事の些細な事ばかり注意していると全体を見失うということ。
セ	どんなに優れた人物でも、失敗することはあるというたとえ。
ス	鳴いたがために撃たれた雉のように、必要のないことをした結果、災難を招いてしまうこと。
シ	親のありがたみが解る頃には、すでに亡くなっているものだ。だから、親が元気なうちに孝行したほうがよい。
サ	親のありがたみが解る頃には、すでに亡くなっているものものなので、危険なことには初めから近寄らない。
コ	信じていない神様や、あまり付き合ひのない人などに、困った時だけ頼ろうとすること。
ケ	身につけた技能はいざと言うときに役立つことがある。
ク	価値あるものは多少条件が悪くなってもそれなりの価値はある。
キ	知らないことを聞くことは、その時に恥をかくだけだが、知らないままだと一生恥ずかしい思いをすることになる。
カ	人から話に聞いたものを実際に見てみると、聞いていたことと大きく違っていること。
オ	優れた名人・達人は、道具のよしあしに関係なく立派な仕事をやるものだということ。
エ	優れた名人・達人は、道具のよしあしに関係なく立派な仕事をやるものだということ。
ウ	すでにしてしまった失敗を後で後悔しても取り返しがつかない。だから後悔しないように注意しなさい。
イ	うまく世渡りするためには、その土地ごとの習慣に合わせ生活するのがよいということ。
ア	犬と猿のように、二者の仲がとても悪いことのとたとえ。同じように罰を与えるべきだということ。